

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公表番号】特表2011-512374(P2011-512374A)

【公表日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2010-547116(P2010-547116)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/12 (2006.01)
C 0 7 D 409/14 (2006.01)
A 6 1 K 31/454 (2006.01)
A 6 1 P 29/02 (2006.01)
A 6 1 P 25/04 (2006.01)
A 6 1 P 25/22 (2006.01)
A 6 1 P 25/20 (2006.01)
A 6 1 P 25/24 (2006.01)
A 6 1 P 25/08 (2006.01)
A 6 1 P 25/28 (2006.01)
A 6 1 P 25/30 (2006.01)
A 6 1 P 25/32 (2006.01)
A 6 1 P 15/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/02 (2006.01)
A 6 1 P 9/10 (2006.01)
A 6 1 P 27/16 (2006.01)
A 6 1 P 17/04 (2006.01)
A 6 1 P 25/06 (2006.01)
A 6 1 P 1/04 (2006.01)
A 6 1 P 1/14 (2006.01)
A 6 1 P 3/04 (2006.01)
A 6 1 P 1/12 (2006.01)
A 6 1 P 7/00 (2006.01)
A 6 1 P 13/02 (2006.01)
A 6 1 P 23/00 (2006.01)
A 6 1 P 7/10 (2006.01)
A 6 1 P 25/00 (2006.01)
A 6 1 P 21/02 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/12 C S P
C 0 7 D 409/14
A 6 1 K 31/454
A 6 1 P 29/02
A 6 1 P 25/04
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 25/20
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 25/08
A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/30
A 6 1 P 25/32
A 6 1 P 15/00
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 9/02
A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 27/16
A 6 1 P 17/04
A 6 1 P 25/06
A 6 1 P 1/04
A 6 1 P 1/14
A 6 1 P 3/04
A 6 1 P 1/12
A 6 1 P 7/00
A 6 1 P 13/02
A 6 1 P 23/00
A 6 1 P 7/10
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 21/02
A 6 1 P 43/00 1 1 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年8月1日(2014.8.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0 0 4 8】**

本発明はまた、不安状態、ストレスおよびストレス関連症候群、鬱病、癲癇、アルツハイマー病、老年認知症、一般の認知機能障害(general cognitive dysfunctions)、学習および記憶障害(向知性薬として)、禁断症状、アルコールおよび/または薬物および/または処方薬の乱用および/または依存、性機能障害、循環器疾患、低血圧、高血圧、耳鳴、搔痒症、片頭痛、聽覚障害、消化管運動障害、食物摂取障害、無食欲症、肥満症、運動器障害、下痢、悪液質、尿失禁を処置するための、または筋弛緩薬、抗痙攣薬または麻酔薬としての、またはオピオイド鎮痛薬もしくは麻酔薬による処置の際に併用投与するための、利尿もしくは抗ナトリウム利尿、不安緩解のための、運動活性の調節のための、神経伝達物質の放出の調節および関連する神経変性疾患の処置のための、禁断症状の処置のための、および/またはオピオイド依存症の可能性の低減のための医薬を製造するための、本発明による置換インドール誘導体の使用も提供する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【請求項2 2】**

不安状態、ストレス、鬱病、癲癇、アルツハイマー病、老年認知症、一般の認知機能障害、学習および記憶障害、禁断症状、アルコールおよび/または薬物および/または処方薬の乱用および/または依存、性機能障害、循環器疾患、低血圧、高血圧、耳鳴、搔痒症

、片頭痛、聴覚障害、消化管運動障害、食物摂取障害、無食欲症、肥満症、運動器障害、下痢、悪液質、尿失禁を処置するための、または筋弛緩薬、抗痙攣薬または麻酔薬としての、またはオピオイド鎮痛薬もしくは麻酔薬による処置の際に併用投与するための、利尿もしくは抗ナトリウム利尿、不安緩解のための、運動活性の調節のための、神経伝達物質の放出の調節および関連する神経変性疾患の処置のための、禁断症状の処置のための、またはオピオイド依存症の可能性の低減のための医薬を製造するための、請求項1～5のいずれか一項に記載の置換インドール誘導体の使用。